

# ほっかいどう

広報紙

年5回発行  
(5・8・10・12・2月の下旬)

北海道新幹線  
2015年度末開業予定

北海道



【特集】目指そう！スポーツ王国・北海道

## スポーツの力で、北海道をもっと元気に！ 世界に羽ばたく人づくり、 スポーツで輝く地域づくりに取り組んでいます。

道が進める「スポーツ王国・北海道」は、健康な体と豊かな心を育て、  
活力に満ちた北海道をつくっていく取り組みです。  
スポーツを通じて北海道の魅力を発信し、  
みんながスポーツに親しめる環境を育てていきましょう。



### 優れたスポーツ環境は、北海道の大きな魅力。

豊かな自然に恵まれた北海道では、冬のスポーツをはじめ、一年を通してさまざまなスポーツを楽しむことができます。

道は、スポーツの力で健康な体と豊かな心を育て、活力ある地域をつつていこうと「スポーツ王国・北海道」の取り組みを進めています。

近年では、夏の過ごしやすさなどを求めて国内外からのスポーツ合宿が増え、さまざまなチームが北海道へ強化練習のために訪れています。

2年後の2017冬季アジア札幌大会、さらに2018平昌冬季オリンピック・パラリンピック、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けては、選手の活躍はもちろん合宿候補地としても、北海道に寄せられる期待はますます高まっています。

こうしたトップスポーツの舞台で北海道が大きな役割を担っていくことは、国際的な交流や競技力の向上につながるだけでなく、道民が世界レベルのプレーを観戦してスポーツを身近に感じられる機会でもあります。



2017冬季アジア札幌大会ポスター

### 世界に羽ばたけ、道産子アスリート！

北海道出身のアスリートが国際大会などで活躍する姿は、道民に夢と感動を与えてくれます。そこで、道が進める「スポーツ王国・北海道」では、世界で

活躍できるトップアスリートの育成に取り組んでいます。

優れた選手や指導者などの育成をはじめ、将来を見すえ、子どもたちの指導にも力を注いでいます。

また、世界に通用するアスリートを育てるには、地域に根ざした身近なスポーツ環境が不可欠です。道では、地域の個性を生かした総合型地域スポーツクラブが全市町村に広がるよう、地域の取り組みを支援しています。

### スポーツを通して、健やかな人づくり、地域づくりを。

このように道では、スポーツを「する人」はもちろん、トップレベルの競技やプロスポーツ観戦などスポーツを「観る人」、指導者やスポーツボランティアなどスポーツを「支える人」にも着目した取り組みを進めています。

また、子どもの体力づくりは、健康の維持や学習意欲の向上などにも大きく関わっています。幼いころから日常的にスポーツに親しめるような環境づくりが必要です。

子どもから大人まで、どんな楽しみ方もできるのがスポーツの魅力。皆さんも、家庭や学校、地域でもっとスポーツに親しんでみませんか。スポーツを通じた人と地域の活力は、北海道全体の元気づくりにつながっていきます。

### 特集クイズ

カーリングで使用するこの道具の名前は？



答えは中面下に▶

お知らせ 広報紙「ほっかいどう」は、新聞折込やポスティングで配布しているほか、金融機関やコンビニエンスストアなどにも設置しています。

**【特集】目指そう！  
スポーツ王国・北海道**

# スポーツを「する」「観る」「支える」人々を応援！ 北海道のスポーツの魅力をみんなで育てよう。

スポーツの楽しみを広げ、もっと身近に親しんでもらおうと、道では、学校や地域、団体などと連携して取り組んでいます。  
「スポーツ王国・北海道」の具体的な取り組みを紹介します。▶特集に関するお問い合わせは、道庁文化・スポーツ課 ☎(011)204-5209

## トップアスリートを育てるために

### 世界で活躍する選手を目指して

トップアスリートの活躍を「観る」ことは、スポーツへの興味を高め、「自分もやってみよう」という意欲につながります。道では、トップアスリートを育てるための取り組みを進めています。  
その一つ、女子カーリング選手の強化育成を行う「北海道女子カーリングアカデミー」では、カナダからコーチを招いて技術指導を行っているほか、海外合宿なども実施。また、素質ある未来のアスリートを育てる「北海道タレントアスリート発掘・育成事業」では、子どもたちを対象に、10年後の世界での活躍を目標にした選手を発掘し、育成・強化を進めています。

### 競技に打ち込める環境づくりを支援

北海道は、冬季スポーツをはじめとして世界で活躍する多くの選手を生み出しています。  
北海道出身の優れた選手が安心して競技活動に打ち込める環境づくりとして、道が取り組んでいるのが「北海道アスリートキャリア形成事業」です。  
この取り組みでは、元オリンピック選手3名の「北海道アスリートキャリア連携専門員」が、2017冬季アジア札幌大会などに向けた選手の強化や大学生選手の支援、市町村などが進めるスポーツ事業への協力を行っています。

子どもの時期の経験が大切。スポーツのすばらしさを伝えたい。



北海道アスリートキャリア連携専門員（元アルペンスキー選手）川端 絵美さん

トップアスリートという高い技術力にばかり目を向けがちですが、もっと重要なのは、その土台に体力が備わっているかどうか。世界の舞台で戦うときにも、最後にものをいうのは体力です。  
その意味で、心身の成長期にある子どもたちのときの経験はとても大切。早寝早起きの習慣づくりや、四季の自然の中で体を使って遊ぶことは、体力や学力向上につながることはもちろん、人としてのたくましさや育んでくれます。トップアスリートの資質も、そうした積み重ねから生まれるのです。

連携専門員として行う大学生選手への指導でも、日ごろのトレーニング法や栄養士による調理実習など、技術の強化にとどまらないアドバイスを心がけています。私たちの知識と経験を生かして、スポーツを通じた北海道の人づくり、地域づくりのお手伝いのできたらと思っています。



大学生選手に指導をする川端さん

## 地域のためのスポーツ環境づくり

### 総合型地域スポーツクラブを全道に

「総合型地域スポーツクラブ」は、地域住民によって自主的に運営される新しい形のスポーツクラブ。子どもから高齢者までの誰もがそれぞれの志向・レベルに合わせ、身近な地域で多種目のスポーツを楽しむことができます。  
道内の総合型地域スポーツクラブは169あり、地域の特性を生かしながら111市町村で実施されています（平成26年7月現在、育成クラブを含む）。道では、地域の連帯感の育成や特色あるスポーツの振興に向けて、総合型地域スポーツクラブが全道に普及するよう支援しています。

### 地域に根ざした指導者づくり

スポーツに親しむための環境づくりに必要なのは、指導者の充実です。道内では、各市町村でスポーツ推進の役割を担う「スポーツ推進委員」が約2,500人（平成26年4月現在）配置されています。

さらに、こうした推進委員をはじめ、子どもたちのスポーツ活動を支援する各種スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブの指導者を対象にした研修会を実施するなど、多様化するスポーツのニーズに対応できる指導者の養成を進めています。

運動がいつも身近にある、地域の居場所を目指しています。



NPO法人よりづか☆ちよいスポ倶楽部 理事長 鈴木 ゆかりさん

時代とともに町内会活動や近所づきあいが少なくなるなか、四里塚町内会の住民有志が「地域の居場所をつくろう」と、平成20年に設立したのが当クラブです。  
ラグビーに似た球技で、運動の苦手な子どもも楽しめる「タグラグビー」を早くから取り入れているのは、子どもたちに体を動かす楽しさを知ってほしいから。運動を身近に感じられれば、成長の過程でスポーツに親しむきっかけも増え、高齢になっても適度な運動習慣を保つことができます。



子どもから大人まで多彩な運動メニューを展開

国の委託事業として市内の小学校で体育授業のサポートもしていますが、子どもから大人までの運動意識を高めるには、地域ぐるみの連携が必要だと思います。地域の皆さんの意欲や熱意に応えられる、フットワークの軽い総合型地域スポーツクラブでありたいと思っています。

## 子どもにスポーツの魅力を伝えよう



スポーツチャレンジ教室の親子陸上スクール

スポーツを体験して、楽しさを実感  
スポーツへの興味・関心の第一歩は、自分で体験して楽しいと感じること。道では、子どもたちにスポーツの楽しさや魅力を伝える場を提供しています。  
その一つが、元オリンピック選手などが講師となって道内各地で開催している「ス

ポーツチャレンジ教室」。  
さらに、スポーツを行う子どもへの保護者向けの研修として「ペアレンツ・スクール」を道内各地で開催しています。

## 楽しみながら記録に挑戦！

運動に親しみながら体力向上を目指す取り組みとして、道教育委員会では「どさん子元気アップチャレンジ」を実施しています。  
これは、道内公立小・中学校の子どもたちが縄跳びなどに挑戦し、個人や学校での公式記録を競うなど目標を持って体力づくりに励むもので、今年度もウェブサイトで記録や順位などを公開します。

## スポーツ合宿で地域を元気に

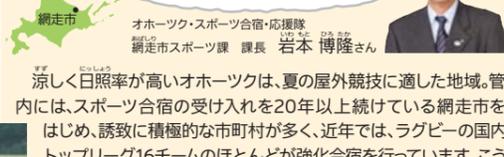
### 全道で取り組むスポーツ合宿の誘致

道内のスポーツ合宿の受け入れ件数は、年間約3,100件（平成25年度）。多くの市町村がスポーツ合宿の誘致に取り組み、全国レベルの学生や社会人チームのスポーツ合宿によって地域の活性化に結びついています。  
トップレベルのチームを地域でもてなすことによって、大会などの円滑な運営に必要なスポーツボランティアの精神が地域に根づくことにつながります。  
道は現在、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う波及効果を地域の活性化につなげるために「北のTOPプロジェクト」を進め、その中でスポーツ合宿誘致にも取り組んでいます。  
この事業では、スポーツ合宿に関する調査を通じて、海外選手団の受け入れを希望する市町村を対象に情報交換会などを実施。オホーツク管内などスポーツ合宿先進地域と連携しながら、道内全体の受け入れ体制づくりを進めていきます。



ラグビー強化合宿チーム同士の交流試合

地域を選んでくれるチームに貢献する姿勢が大事です。



涼しく日照率が高いオホーツクは、夏の屋外競技に適した地域。管内には、スポーツ合宿の受け入れを20年以上続けている網走市をはじめ、誘致に積極的な市町村が多く、近年では、ラグビーの国内トップリーグ16チームのほとんどが強化合宿を行っています。こうした動向を共有し、地域の発信力を高めようという、管内市町村、オホーツク総合振興局及び教育局による地域連携協議会「オホーツク・スポーツ合宿・応援隊」を平成26年に設立。専用サイトを作って合宿情報を発信し、空港での歓迎イベントも行っています。また、市町村が連携しやすくなったおかげで、管内での移動サポートや交流試合のコーディネートなど、チームへのより積極的な働きかけができるようになりました。オホーツクを選んでくれるチームに地域としてどのように貢献できるかという姿勢が大事だと思います。

## プロスポーツの力で地域の魅力発信

### 北海道への思いをファンと共有

道は、北海道日本ハムファイターズと連携して、地域を応援する活動に取り組みしています。その一つ、年に一度の「WE LOVE HOKKAIDO シリーズ」（こしは6/12～7/15に開催）では、選手たちが胸に「HOKKAIDO」と刻まれたユニフォームを着て戦います。  
このシリーズでは、道内各地の食が集まる



昨年の「WE LOVE HOKKAIDO」シリーズ ©H.N.F.

イベント「なまらうまいっしょ！グランプリ」や、選手たちが地域活性化の応援をする「北海道179市町村応援大使」の関連イベントなどを行い、北海道の魅力を発信しています。

### 北海道に根ざすチームとして

道内を代表するプロスポーツチーム、サッカーの「コンサドーレ札幌」とバスケットボールの「レバンガ北海道」は、北海道観光大使として活動中。道と連携して北海道の食や観光の魅力発信に取り組んでいます。  
また、フットサルの「エスポラーダ北海道」は、道教育委員会と連携して、子どもたちの教育課題の解決に取り組んでいます。

## お知らせ



## 北のめぐみ愛食フェア

北の大地と海の贈り物  
生産者が、産地などの情報を提供しながら対面販売を行う産直市です。  
生産者との交流もお楽しみください。

会場	日程	
札幌市 道庁赤れんが庁舎前庭	5/20～22 6/24～26 7/22～24 9/2～4、28～30 10/13～15	
	チ・カ・ホ（札幌駅前通地下歩行空間）	6/15～19 7/18～20、28、29 8月以降は未定
	江差町 いにしえ街道 姥神広場	6/6・20、7/4・18 8/1・15、9/5・19
	旭川市 旭川市7条 買物公園	7/4・11・18・25 8/1・8・15・22・29 9/5
留萌市 留萌地方卸売市場	5/24、6/28、7/26	

※日程等は変更になる場合があります。  
▶北のめぐみ愛食フェア実行連絡会 ☎(011)233-4440  
▶道庁食品政策課 ☎(011)204-5432

## 自転車の安全な利用のために

ルールを守り安全に利用しましょう

### 【自転車安全利用五則】

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
  - 飲酒運転・二人乗り、並進の禁止
  - 夜間はライトを点灯
  - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用

### 【自転車運転者講習開始】

6月1日(月)からは、自転車で信号無視などの危険行為を繰り返すと、自転車運転者講習を受けなければなりません。

▶道警本部企画課 ☎(011)251-0110(内線5084)

## 北海道がん対策基金スタート

皆さんのご協力をお願いします

道や北海道対がん協会など15の法人・団体が、がん患者やその家族の方々を社会全体で支えるための基金を設立しました。皆さんの募金や寄付は、患者と家族の支援、検診の受診促進などに役立てられます。募金方法などはホームページをご覧ください。ただか、お問い合わせください。

▶北海道がん対策基金 検索  
▶道庁地域保健課 ☎(011)204-5117

## 自動車税の納期限は

6月1日(月)です

自動車税は、金融機関、郵便局、コンビニエンスストアなどで納めることができます。また今年度から、インターネットを利用したクレジットカード納税ができます。

### 【クレジットカード納税アクセス方法】

●パソコンから  
Yahoo!JAPANで「公金支払い」検索  
※税額のほか、決済手数料が1件につき324円(税込)かかります。

納税のご相談は、お近くの総合振興局・振興局、道税務事務所にご連絡ください。

道税 問い合わせ 検索  
▶道庁税務課 ☎(011)204-5061

## 野山ではヒグマに注意

山菜採りなどのときは気をつけましょう

ヒグマによる人身事故の多くは、野山に入ったときに発生しています。被害にあわないよう心がけましょう。

- 市町村役場などで出没情報を確認
- 単独行動を避け、集団行動をとる
- 鈴や笛を鳴らし、人がいると知らせる
- 朝夕など薄暗いときは行動しない
- フンや足跡を見たら引き返す

▶道庁生物多様性保全課 ☎(011)204-5205

## 2015ホッカイドウ競馬

### 門別競馬場でナイトレースを楽しもう

白高町の門別競馬場では、11月12日までの火・水・木曜日（一部の火曜日を除く）、ナイトレース「グランシャリオナイト」を開催中。各物のとねっこジンギスカンを食べながら観戦できます。

JR札幌駅から無料送迎バス（予約制）運行。馬券は道内各地の場外売所Albaでも購入できます。白熱のレースをお楽しみください。

ホッカイドウ競馬 検索  
▶(一社)北海道軽馬振興公社 ☎(01456)2-4110  
▶道庁農政部競馬事業室 ☎(011)204-5377

## アール・ヌーヴォーのガラス

デュッセルドルフ美術館 ゲルダ・ケプフ・コレクション

デュッセルドルフ美術館の所蔵作品から、ゲルダ・ケプフ夫人が寄贈したガラス作品130余点を紹介します。ドム兄弟（デザイン・アンリ・ベルジェ）「花器（カタクツリ）」1904年  
デュッセルドルフ美術館  
Museum Kunstpalast, Düsseldorf, Foto: Studio Fuis - ARTOTHEK

● 期間 / 6月17日(水)まで  
● 休館日 / 月曜日(5/4を除く)、5/7(木)  
● 時間 / 9時30分～17時(入場は16時30分まで)  
● 観覧料 / 一般1,300円、高校・大学生700円、中学生500円 ※小学生以下無料(要保護者同伴)  
▶道立近代美術館 ☎(011)644-6881

## 地域トピックス

総合振興局・振興局の話題をお届けします。



稚内・サハリン間を運航するフェリー

### オホーツク総合振興局 オホーツクブルーでクールな夏を。

毎年7・8月、エリアカラーのオホーツクブルーを家庭や職場に取り入れた涼感の演出や、省エネ活動によるエコライフへの転換など、地球温暖化防止活動を地域活性化につなげる「クールオホーツク」の取り組みを展開します。  
6月28日(日)には、電気を使わない昔遊び体験で、子どもたちの理解を深めるキックオフイベントを開催予定(入場無料)です。

### 上川総合振興局 「北海道ガーデンショー2015大雪」開催。

5月30日(土)～10月4日(日)、大雪山に抱かれた3つの庭でガーデンショーが開催されます。上野ファーム(旭川市)、メイン会場の大雪森のガーデン(上川町)、神々の遊ぶ庭「カムイミントラ」と呼ばれる大雪山国立公園。里から天空へと続く美しい庭を巡る感動をお届けします。  
期間中に開催される「オホーツクブルーの日」  
クールオホーツク 検索 ▶環境生活課 ☎(0152)41-0628  
北海道ガーデンショー 検索  
▶北海道ガーデンショー2015大雪実行委員会 ☎(01658)2-4058  
▶商工労働観光課 ☎(0166)46-5942

## 宗谷総合振興局

### 稚内からサハリンへ。2015フェリー航路が運航。

ロシア連邦サハリン州は、宗谷地域から海を隔ててわずか43km。今年も2つの地域を国際定期フェリーが結びます。サハリンは、ヨーロッパの情緒漂う街並み、樺太時代の歴史的な建物、ロシア料理などが魅力です。皆さんもフェリーで、身近な外国サハリンに出かけませんか。  
【運航期間】6月9日(火)～9月18日(金)  
▶ハートランドフェリー(株)稚内支店 ☎(0162)23-3780  
▶地域政策課 ☎(0162)33-2917



期間中に開催される「オホーツクブルーの日」

## 道議会レポート

定例会の概要などを伝えます。

### 平成27年第1回定例会 (2/20～3/11)

招集日には、補正予算案(第5号)が原案可決されました。最終日には、知事から提案された予算案30件、条例案35件、その他の案件9件の74案件が原案可決、諮問1件が棄却すべき旨答申、人事案件2件が同意議決されました。

- また、議員及び委員会から提出された会議案2件、決議案1件、意見案1件が可決されました。
- 可決された会議案
  - 北海道議会委員会条例の一部を改正する条例案
  - 北海道議会会議規則の一部を改正する規則案
- 可決された決議案
  - 大間原発の建設工事中断も含めた慎重な対応を求める決議
  - 可決された意見案
    - 新規漁業就業者に対する支援制度の充実・強化を求める意見

本会議の一般質問では、22人の議員が道政上の諸課題について活発な議論を行いました。主な質問項目は次のとおりです。  
安倍政権への評価、知事の政治姿勢、

地方創生への取り組み、北海道強靱化計画、TPP交渉への対応、物流対策、経済・雇用対策、次期雇用創出計画、食と観光を活用した北海道経済の活性化、観光振興、移住・定住への取り組み、地域政策・人口減少対策、原発・エネルギー政策、北海道新幹線、新千歳空港の過密化解消、石狩湾新港地域の開発、医療・福祉対策、国民健康保険の都道府県移管計画、特殊詐欺による被害の防止対策、子ども・子育て対策、農業振興、水産振興、農協改革、危険ドラッグ対策、女性の活躍、防災体制、エンジニア対策、アイヌ教育、不登校対策、小中学校統廃合、総合教育会議のあり方 など

### ～ホームページをご覧ください～

道議会ホームページでは、新議員一覧や本会議の日程、議会議中継、本会議の審議概要や傍聴・見学のご案内、請願・陳情提出のご案内など、さまざまな情報をご覧いただけます。  
北海道議会 検索

### ～北海道議会ツイッターのご案内～

ツイッターによる情報発信を行っています。皆さんのフォローをお待ちしています。  
URL <https://twitter.com/hokkaidogikai>

### ～次回定例会のお知らせ～

平成27年第2回定例会は、6月中旬開会の予定です。日程などの最新情報は、ホームページなどでご確認ください。  
▶議会事務局政策調査課 ☎(011)204-5691

羊にアスパラを与えたら、  
くさみがなく、うま味がアップ。

エサに  
工夫!

アスパラひつじ  
美唄市

美唄といえばアスパラの名産地。約130頭の羊を飼育する(株)西川農場では、アスパラ農家が出荷の際に切り落とし、捨てられていたアスパラの根元部分をエサとして羊に与え「アスパラひつじ」のブランド名で販売しています。



アスパラを食べる西川農場の羊

アスパラを食べることで、うま味や甘みを感じるグルタミンやアラニンが多い肉質に。羊特有のくさみやクセも少ないことから、羊肉が苦手な方も「これなら食べられる」と、全国的にも評判になりました。

8年前、ペットとして飼っていた羊に、地元の農家さんが「エサにしてみても」と、アスパラの切り落としをくれたのが始まりです。羊がだんだん喜んで食べるようになったのを見て、北海道らしい商品になると考え、頭数を増やしていきました。

農家さんが処分していた部分をもらい、うちでは飼育場で出たフンやワラを畑の堆肥にし、近所の農家さんに使ってもらっています。おいしく育てるだけでなく、地域のエコにもつながっているんです。

▶お問い合わせ 西川農場 ☎(0126)63-3801

アイデアも道産!

北海道ひとくふう

酪農編

北海道を元気にする、地域の皆さんの「ひと工夫」を紹介します。

美唄市  
幕別町

豚を畑に放牧したら、

脂身が甘く、おいしく育ちました。

蝦夷豚  
幕別町

飼育に  
工夫!

小麦やビートなどを生産してきた(有)北海道ホープランドでは、2006年から輪作の休耕地で放牧養豚を開始。広い牧草地を走り回り、ストレスなく健康に育った豚は「脂身が甘くてさっぱりしている、くさみもない」と、東京のレストランでも高く評価されています。



40haの放牧地で、200頭の豚を放牧

蝦夷豚は牧草をはじめ規格外の野菜や小麦殻などを食べ、その糞尿は肥やしとなり、低農薬の安全で安心な牧草や農作物が育ちます。豚を放牧することで、輸入飼料や抗生物質に頼らずに、循環型の農業を実現しています。

30年ほど前、ヨーロッパで食べた豚肉の味が忘れられず、フランスやイギリスの放牧養豚農家を訪ね歩きました。

日本では豚舎に隔離して飼育するのが常識で、生後5、6カ月で出荷してしまいましたが、うちでは1、2年かけて150~200kgまで成長させるので脂肪の付き具合や味が全く違います。澄んだ空気の野外で、通年しっかり運動させれば、病原菌を寄せ付けない健康な豚に育つのです。豚は鼻で土を耕すように牧草を食べるので、微生物が活発に働く豊かな大地になります。

▶お問い合わせ 北海道ホープランド ☎(0155)54-5477

健康に育った豚は、大地も豊かにしてくれる。



(有)北海道ホープランド 妹尾 英美さん

実は、地域のエコにも役立っています。



(株)西川農場代表 西川 崇徳さん

みんなで応援! 北海道新幹線 2015年度末 開業予定

「どこでもユキちゃん」です。どうぞよろしく!

北海道新幹線開業をPRするために生まれたユキちゃん。ポイントはH5系車両と同じ3色のマフラー。夢は札幌から鹿児島まで新幹線で旅をすること。北海道新幹線関係のイベントに登場するほか、LINE、フェイスブック、ツイッターで情報を発信中! 皆さんと一緒に開業を盛り上げます!

北海道新幹線開業NAVI 検索



北海道新幹線 JR北海道 H5系 提供:JR北海道

開業まで遅くともあと 10カ月!

※2016年3月31日より起算

北海道新幹線 開業PRキャラクター どこでもユキちゃん

でスノー!



北海道新幹線やユキちゃんが登場する商品もぞくぞく

- ①北海道新幹線 開業応援おにぎり/サッポロライス(株)
- ②Ribbon夕張メロンゼリー/ボッカサッポロフード&ビバレッジ(株)
- ③コアップガラナ(株)小原



▶道庁新幹線推進室 ☎(011)204-5333

北の美味しいプレゼント!

ホクレン「スポーツ応援米」(5kg)をプレゼント! 売上の一部が、スポーツを通じて北海道の子どもたちの心と身体を育てる事業に役立てられます。

抽選で 30名様

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

6月号の中で興味を持ったのは、どの記事ですか

- ①特集(スポーツ王国・北海道) ②お知らせ北海道
- ③地域トピックス ④ひと・人・くふう ⑤北海道新幹線

●応募方法:アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募期限 6月17日(水)必着

応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

●応募先 ハガキ 〒060-8588(住所不要)

北海道広報広聴課「北の美味しいプレゼント!」係

パソコン 広報紙「ほっかいどう」 検索

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。

※3月号のプレゼントには、5,653件の応募をいただきました。



携帯サイト



北海道の人口	総人口	男	女
平成27年3月末	5,407,928人	2,554,640人	2,853,288人
前年同月比	30,573減	15,251減	15,322減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号のお知らせ 9月号は8月19日(水)から配布予定です。



この広報紙は環境に優しい植物性インキと古紙配合率70%再生紙を使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

広告

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。